

委 員 長 報 告 書

さる 9 月 10 日の本会議において、本委員会に付託された
議案第 13 号 橋本市都市公園条例の一部を改正する条例について
議案第 16 号 市道路線の認定について
を審査するため、9 月 14 日に委員会を開催し、慎重審査の結果、議案第
13 号は賛成多数で原案可決、議案第 16 号は全会一致で原案のとおり可決
すべきものと決しましたので、以下その概要を報告いたします。

記

議案第 13 号は、都市公園に設置する各施設の使用料について、使用料・
手数料等に関する基本方針に基づき、受益者負担額の適正化を図るため見
直しを行い、使用料を改定する。併せて、住吉運動公園について、夜間照
明設備がない多目的広場の夜間使用料を削除し、市内・市外利用者の使用
料を統一するものである。なお、使用料改定については、受益者負担割合
を多目的グラウンドと多目的広場は 50%、テニスコート、プール及び神
野々緑地のキャンプ場と芝生広場は 70%と設定して見直しを行い、消費税
込使用料が現行の 1.1 倍または 1.2 倍と設定し、受益者負担額に近づ
くようにしている。

委員から、市民プールに係る年間人件費と利用者数について ただしが
あり、26 年度で人件費 930 万 6 千円、利用者数 33,915 人である との答
弁がありました。

市民プールの利用者数が増加すれば使用料は下がるのか とのただし
があり、施設の管理運営や維持修繕の経費が今後にかかるので、仮に利用
者数が増えたとしても、すぐに使用料を下げられる状況にはない との答
弁がありました。

橋本駅と市民プール間で運行している無料送迎バスについて ただし
があり、運行経費等が大きく、来年度以降に廃止する方向で指定管理者と

協議している　との答弁がありました。

市民プールについて開設当時から使用料が高いという苦情があるなかでの今回の値上げであるが、果たして利用者に受け入れられるのか　との
ただしがあり、値上げするからには、その分利用者に満足していただける
ようなサービスを提供していくことも必要であると考えており、指定管理
者と協議しながら、売店の設置等も含め方策を研究する　との答弁があり
ました。

市民プールの回数券制度に係る利用状況と周知方法について　ただし
があり、回数券は市民プール前の券売機で販売しており、本年度は 2,000
冊を販売し完売した。校長会を通じ市内の小中学生に対し利用案内してい
る　との答弁がありました。

神野々キャンプ場の利用者数について　ただしがあり、25 年度 1,698 人
26 年度 1,857 人である　との答弁がありました。

討論に入り、原案に反対の立場から、受益者負担を否定するわけではな
いが、値上げの根拠となる受益者負担割合について合理的な理由が不明確
であり、値上げについて再度検討する必要があると考えるので反対する
との討論がありました。

賛成の立場から、厳しい財政状況のなかで施設の老朽化が進み、現行の
使用料の値上げについてはやむを得ないと考える。しかしながら、特に多
くの市民が利用する市民プールについては値上げ幅も大きく、利用者から
値上げ反対の意見が出ることが予想される。値上げする一方、楽しく過ご
せる市民プールになったと利用者に感じてもらえるよう様々な面で改善に
取り組むとのことなので、それに期待し賛成する　との討論がありました。

議案第 16 号は、民間事業者 2 社がそれぞれ宅地造成に伴い設置した道
路について、原田長平 1 号線他 2 路線として、新たに市道認定するもので
あり、委員会は先に現地におもむき調査ののち審査を行いました。

委員から、質疑、意見等はありませんでした。